

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	上下道局ホームページ作成事務				事業コード	1175
担当課等	所属名	上下水道局 総務経営課			担当係名	
	課長名	内宮康廣	上下水道局 総務経営課	担当者名	飯富 理恵	電話番号 6230

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	給水サービスの向上	コード 2	関連予算 費目名	水道事業会計 1款01項80目 総係費(000-00)	
	特記事項					
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 平成14年度～)					
事務事業の概要	公式ホームページによる情報提供を行う。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成14年度の水道法改正により水道事業に関する情報提供が水道事業者の責務と位置づけられたことから、積極的な情報提供の手段として「ウェブ水道もりおか」を市のホームページ内に開設した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
インターネット普及に伴い、ホームページによる情報提供はますます重要になってきている。また、平成22年4月1日に水道部と下水道部が組織統合して上下水道局になったこともあり、市のホームページから独立した上下水道局独自の公式ホームページを立ち上げるための制作業務を進めている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市の人口	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ホームページにより水道事業の情報を提供する。併せて、独自ホームページの制作業務を進めた。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ホームページにより水道事業の情報を提供する。併せて、独自ホームページの立ち上げを実施する	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. ホームページで提供した情報数	単位	項目
				B. 画面更新回数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民がホームページで水道事業の情報を入手できるようにする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 日頃ホームページで水道事業情報を入手している市民の数(年間トップページアクセス件数) 【指標の性格: ☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	利用者の理解と信頼が確保される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	公道内鉛製給水管解消率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市の人口	人	297592	297267	297267	298148	298148		年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	ホームページで提供した情報数	項目	49	52	50	79	100		年度
活動 指標B	画面更新回数	回	24	33	30	30	50		年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	日頃ホームページで水道事業情報を入手している市民の数(年間トップページアクセス件数)	人	19872	22501	21000	24641	25000		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円				2,174	347		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円				2,174	347		*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円				2,174	347		*****
延べ業務時間数		時間	200	200	1,000	1,000	500		*****
職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	800	800	4,000	4,000	2,000	0	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	800	800	4,000	6,174	2,347	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☒ 拡大または絞ることができる ☐ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☒ 類似事業がある ☐ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☒ 公平・公正である ☐ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由:積極的な情報提供により市民の関心と理解を得ることは、水道事業の円滑な運営のために必要不可欠である。

理由:水道事業に関する情報提供は、上下水道局が責任を持って行うことが妥当である。

理由:水道事業の対象は盛岡市民であり、対象は妥当である。

理由:市民へ情報を発信するだけではなく、市民の要望・意見を聞く手段として活用することで、相互理解を深める効果が期待できる。

その内容:ページ構成やデザインを見直し、より見やすく充実したホームページにリニューアルする。

その内容:自主広報媒体を廃止することは、情報提供の機会を大きく減らすこととなる。

事業名:広報紙、他のホームページ

※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？

統廃合・連携検討 ☒ できる ☐ できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ

その内容:統廃合は困難であるが、連携により成果が向上する可能性はあり、検討する余地はある。

理由:人件費が主であり、その他は必要最低限の経費である。

その内容:一部業務委託により、担当職員の延べ業務時間数を削減できるが、業務委託費が増加する。

理由:ホームページの閲覧は公平・公正である。

理由:情報発信を目的としたホームページであり、受益者の費用負担は適当ではない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 市のホームページから独立した上下水道局独自のホームページを制作することにより、情報提供の充実を図り、市民からの要望・意見を聞く手段として活用する。また、リニューアルに伴い、ページ構成やデザインを見直し、より見やすく充実したホームページに改善する。 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 各課等の協力や、各職員の広報に対する意識を高めることが重要であることから、連携体制を強化していく。
----------------	--

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 <table><tr><td>① 必要性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>○ 妥当</td><td>● 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 平成23年度から、上下水道局独自のホームページを立ち上げるために必要な業務を実施した。
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の 方向性 と改革 改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table><tr><td>☐ 終了</td><td>☒ 継続</td><td rowspan="3"> → ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携 </td></tr><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td></tr></table> ↓ 方向付けの理由と改革改善の内容 情報提供の有効なツールの一つであり、市民からの要望等も参考としながら、迅速なページ更新や提供する情報等内容の充実を図りながら、継続して実施する必要がある。		☐ 終了	☒ 継続	→ ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携	☐ 廃止	☐ 休止							
☐ 終了	☒ 継続	→ ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携												
☐ 廃止	☐ 休止													